

2016年12月

中国四国農政局  
高知県拠点

# News Letter

## 七面鳥「しまんとターキー」

## 大野見七面鳥生産組合

高岡郡中土佐町大野見地区は、最後の清流四万十川の上流域にあり、緑豊かな山野に囲まれた地域です。この良好な環境のもと、全国でも珍しい七面鳥の生産に取り組んでいるのが「大野見七面鳥生産組合」です。同組合が情熱を持って育てている七面鳥は、「しまんとターキー」として販売されています。



(快適な環境で育つ七面鳥)

七面鳥の生産サイクルは、2月に採卵し、3月から4月にかけて孵化させます。約8か月間飼育して、10月以降に順次加工を行います。また、冬にかけて脂がのってくるため、クリスマス時期が一番の食べ頃です。

### 肉の特徴

【食感】 全体的に鶏肉に比べて弾力があり、噛み応えがあります。餌に米や野菜を与えているため風味がよく、ジューシーです。また、体の大きさに反して味は繊細で、肉そのものの味をしっかりと感じます。

【肉質】 一般的な牛、豚、鶏肉に比べて脂質が少なく、高タンパク低カロリーです。脂もさっぱりしています。

【調理法】 七面鳥はクリスマスのイメージがありますが、普段の鶏肉調理と同じく、カレーや煮物などの料理はもちろん、そのまま焼いても美味しく召し上がれます。



(イベントでの焼き鳥)



(しまんとターキー (300g/1袋))

同地区では、古くから七面鳥を自家消費用の肉として育ててきました。大野見七面鳥生産組合は、現在、生産農家3戸で構成され、約600羽を飼育しており、繁殖から食肉加工までの全てを行っています。

### 飼育のこだわり

七面鳥は、臆病で警戒心が強く、ストレスが溜まると喧嘩や他の個体に重なり合ったりするため、傷ができたり圧死することもあります。このため、ストレスを与えない飼育が重要で、広い鶏舎でゆったり飼い、床には、もみ殻やヒノキのかんなくずを敷いて、快適に過ごせるようにしています。

また、餌には、配合飼料に加えて、大野見産の米や野菜も与えています。飲み水は、谷水や地下水を利用しています。



(成長した七面鳥)

### 今後の展開

町の地域おこし協力隊と連携して、新商品の開発と販路拡大を行いながら増産し、目指すは生産量日本一です。

### 七面鳥の名前！

頭から首にかけて羽毛が無く、赤い皮膚が見えています。この部分の色が興奮することから、赤、青、紫色などに変化することから、七つの面(顔)を持つ鳥として、名が付けました。

【お問い合わせ先】 中土佐町農林課 (分室)  
TEL 0889-52-2471

## 国内で「鳥インフルエンザ」が発生しています。

消費者の皆様へ

### 鶏肉・鶏卵は「安全」と考えます。

我が国の現状においては、以下の理由から、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザ（ウイルス）がヒトに感染する可能性はないと考えています。

- ・ウイルスがヒトの細胞に入り込むための受容体※1は鳥の受容体とは異なること
- ・ウイルスは酸に弱く、胃酸で不活化※2されると考えられること

(食品安全委員会)

※1. 受容体とは、ウイルスがヒトや動物に感染する際に最初に結合する細胞表面の分子のこと。

※2. 不活化とは、ウイルスが死滅する（感染性が失われる）こと。

食品安全委員会ホームページ <https://www.fsc.go.jp/sonota/tori1603.html>

家きん飼養者の皆様へ

### 鳥インフルエンザへの嚴重な警戒をお願いします。

～消毒及び野鳥やネズミ等の野生動物の侵入防止対策の徹底～

11月末以降、青森県及び新潟県内の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生しました。中国四国管内においても、野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されるなど、いつ、どこで本病が発生してもおかしくない状況にあります。

家きん飼養者の皆様におかれましては、①家きん舎周辺等の消毒、②防鳥ネットなどの設置とその破損の有無の確認、③家きん舎の壁面の破損部分や屋根と壁の隙間などの小型野生動物の侵入経路の遮断について点検・確認を行い、必要に応じて修繕などを行って下さい。

また、これまで以上に念入りに、飼養家きんの毎日の健康観察を行っていただき、死亡家きんが増えた、元気が消失した家きんが増えたなどの異状を見つけた場合には、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡して下さい。

#### 【連絡先】

中央家畜保健衛生所（土佐市）088-852-7730  
田野支所（田野町）0887-38-2543  
香長支所（香美市）0887-52-3069  
嶺北支所（土佐町）0887-82-0054

西部家畜保健衛生所（四万十市）0880-37-2148  
高南支所（四万十町）0880-22-1124  
梶原支所（梶原町）0889-65-0392

農林水産省ホームページ <http://www.maff.go.jp/>

## 食べて応援しよう！ ～被災地産食品の利用・販売を推進～

平成28年12月6日、高知県拠点、高知地方合同庁舎食堂のご協力を頂き、「食べて応援しよう！」に取り組みました。昼食では、用意された福島県産米の定食53食分が消費されました。



※「食べて応援しよう！」とは、被災地やその周辺地域で生産・製造されている農林水産物・食品（被災地産食品）を積極的に消費することで、被災地の復興を応援する運動です。



(福島県産コシヒカリの定食)



(食堂前では、のぼりとポスターで被災地支援をPR)

編集：中国四国農政局 高知県拠点

〒780-0870 高知市本町4丁目3-41 高知地方合同庁舎

TEL (088)875-7236 FAX(088)872-7531 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中（登録はこちらから） <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>